

【ヒットルアー】

・モカSR(SS) 黄オレンジ	3尾	・プチモカSR(FⅡ) 黄オレンジ	2尾
・モカSR(SS) オラオラオレンジ	1尾	・つぶアン 35F 透明灰色	2尾
・プチモカSR(SS) ミッカビミカン	3尾	・ザンム 黄土黄色ちらし	1尾
・プチモカSR(SS) 蛍光ピンク	1尾	・ちびパニクラDR-SS タッキーブラウン	1尾
・プチモカDR(F) S.M6	3尾	・マメしずくBB 薄茶レジン	4尾

モカSR(SS)
黄オレンジ



プチモカSR(SS)
ミッカビミカン



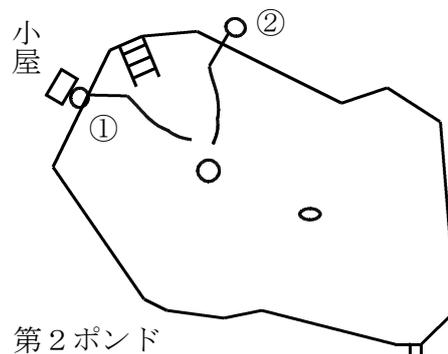
プチモカDR(F)
S.M6



つぶアン 35F
透明灰色



<①小屋前でスタート>



【様子】

- 料金 半日午後 男性 ¥4,000
- 放流なし。餌撒きなし。
- 晴れ。風は強く吹いているのだが、ここは風裏になり、風があまり当たらない。水面が鏡になることもあった。
- 前日の雨による濁りが入っている。
- 客は少ない。



<②途中で移動>

【振り返り】

- 釣り開始からややあって、モカSR(SS)黄オレンジ3尾取った。
- 当たらない。ときどき掛かるがばれてしまう。結局、午後3時までに4尾であった。
- 日の当たる場所(②のところ)で、結構、釣っている人がいたので、教えていただけないかとお願いに行

った。快諾してもらった。この方はトーナメンターさんで優勝経験もあるとのこと。

○教えてもらった釣り方で4尾取った。(午後3時から1時間)

○午後4時になり、小屋前、マスが表層でざわついてるのが見えたので、お礼を言って、最初の位置に戻った。

○表層で13尾取った。

<トーナメンターさんから>

○冬から水温が上がってきたこの時期は宙層やや上にマスがいる。

○つぶアン(ザンム)を3回巻いて、その後、竿を立て気味にして、ゆっくり巻く。

○この釣り方で4尾取った。ガツンという当たりで、マスの状況にマッチすると強く当たるのかと感じた。

・つぶアン 35F 透明灰色 2尾

・ザンム 黄土黄色ちらし 1尾

・ちびパニクラDR-SS タッキーブラウン 1尾

○ゆっくり巻くとは、ルアーの泳層が一定になるスピードで巻くとのこと。

○私の持っているルアーが、SSで派手系の色が多いことから、Fでナチュラル系を持つといいと言われた。

<スタッフ安藤さんから>

○安藤さんに相談した。

○よく釣れそうなルアーを持っているから、新しくルアーを買うより、今持っているルアーをもう一度使うことを提案された。

○その際、ルアーが泳ぐ最大深度別で整理しておくこと、一定層を泳ぐ巻きスピードをつかむこと。

○意識することは、マスのいる層をつかむこと。その層を一定のスピードで泳がせること。

○カラーは、派手系、シルエット系(べた塗り)、水になじむ色(茶色や灰色などが入っている半透明のもの)

※クランクの泳ぎは、徐々に深くもぐり、最大深度まで達するとそれ以上は潜らなくなる。その後、足下に向かって浅くなっていく。

※今回、ちびパニクラDR-SSだったのだろうか、巻き始めから足下まで来るまでに20巻きだった。5巻き目で当たり、15巻き目で再び当たったことがあった。5巻き目は潜っていくとき、15巻き目は足下に向かって巻き上がってくるときであると考え、ほぼ同じ泳層であたったことになるのだろう。

※巻き始めから足下に来るまでに何巻きなのか。その1/3ずつを、潜っていくとき、最大深度、巻き上がってくるときと考えると試してみよう。